

鳥 信

*** 5月15日** サンコウチョウ*♂・♀
大牟田市上内地区
上内地区に出かけましたが、声は聞こえど、姿は見る事が出来ませんでした。「今日こそは見たいという思いで、出かけたところ、偶然にも野田さんとお会いし、やっと姿を見ることができました。枝に止まっても、メスが常に気になっているのか、落ち着いて止まってくれません。

Mt. Sige



▲サンコウチョウのオス

*** 5月18日** ヘラシギ夏羽*1
佐賀市大授揚(東与賀干潟)
上げ潮に押されてやって来るトウネン、ハマシギの中に、やっとの思いで夏羽のヘラシギを見つけました。

Mt. Sige



▲ヘラシギ夏羽

*** 5月1日 ~ 5月23日** フクロウ*1
久留米市荒木町
自宅付近の自衛隊の森で、夕方からほぼ毎日鳴いています。遠くから聴こえることもあれば、近くで聴こえることもあります。

佐藤駿宇(小6)、昌子

*** 5月19日** カッコウ*1
久留米市荒木町
朝5時半、自宅のカッコウ時計がなり止まない
ので、いよいよ壊れたのかと起きてみると、時計
ではなく、本物のカッコウが、自宅付近の自衛隊
の森で鳴いていました！とても爽やかな朝を迎
えました！！

佐藤昌子

*** 5月20日** コアジサシ*2
筑后市水辺公園
コアジサシが2羽餌捕りにダイビングしてい
ました。通りかかった人の話では多い時には15、
6羽飛んでいたそうです。コアジサシはどこかで
営巣していると思われるのですが…？

K.T.



▲コアジサシ

*** 5月24日** イソヒヨドリ*♂・♀
久留米市西鉄久留米駅前
イソヒヨドリが西鉄久留米駅前ビル群の中
でも生息しています。今の時期は巣作りに忙しく飛
びまわり、ビル屋上から派手な鳴き声で目を引き
つけます。オスは、鳴き声も声量のある美声で囀
る。メスはかわいいですね。

岡本 正



▲イソヒヨドリのメス

* 5月24日

オオルリ * ♂1 ♀1

矢部村大仙公園

よく立ち寄るポイントでは、オオルリのみと♀を発見しました。今年、初めて聞くオオルリの囀りの声で、暫く聞き惚れていました。しかし、ブッポウソウは全く現れてくれませんでした。

Mt. Sige



▲オオルリのメス

* 5月24日

青い卵はもしかしてコマドリの卵??
同定の結果ガビチョウの卵でした。

松富士 将和



▲ガビチョウの巣と卵

・矢部村栗原製茶園から Line で写真提供

* 6月1日

ブッポウソウ * 1

矢部村日向神ダム

ブッポウソウに会いたくて、日向神ダムに来ています。今年も無事会うことが出来ました。一羽だけでしたが、西園橋の巣穴を意識しているようです。

お相手が見つかるといいですね。 大藤和浩



▲ブッポウソウ

* 6月2日

カイツブリ * 親子

筑前町花立山

6/2の花立山探鳥会は、心配された雨には遭わなかったですが、城山公園傍の且田ヶ浦堤では、微笑ましく、温ったかくなるようなカイツブリの親子に出会いました。すぐに母親の羽根の下に潜り込む雛の仕草が可愛かったですね。 Mt. Sige



▲カイツブリ (ヒナが親鳥に潜り込んでいます)

* 6月2日

フクロウ * 親2、ヒナ1

八女市熊野速玉神社

着いて、隅から隅まで探すといました！親だと思のですが2羽！いました。ヒナがいまいませんでしたが、もう帰ろうかなと思って最後にもう一度見たら1羽だけヒナがいました。とても可愛かったです。

K. T.



▲フクロウのヒナ

* 6月5日

ブッポウソウ* 1

矢部村日向神ダム

西園橋に着いて5分ぐらいすると、黒い鳥が来て電線に止まったのでブッポウソウと確信しました。1羽だけでした。パートナーを求めて時折ゲツゲツと鳴いたり、あちこち電線を飛び回ったり落ち着かない様子でした。

Mt. Sige



▲ブッポウソウ

* 6月8日

アオバズク* 1

久留米市善導寺

アオバズクが1羽いました。番でいないかと探してみましたが、残念ながら1羽だけでした。その後佐賀の綾部神社や、水ものがたり館にも行ってみましたが、残念ながら見つけることができませんでした。

K. T.



▲アオバズク

番外編

* 5月15日

アカショウビン* 1声

熊本県菊池溪谷

アカショウビンの声の初聞きです。キビタキやらソウシチョウやら野鳥の声が溢れており、うるさいくらいです。

M. K.

◇鳥信をお寄せください！

下記の鳥を観察された方はその情報を研究部にお知らせください。

① カイツブリ情報

② サンバの情報

② アオバズク情報

探鳥会確認鳥種リスト

2019年5月

	12日	12日	24日
観察地	王子池	清水山	濃施山
天候	晴れ	晴れ	晴れ
参加総数	人	24人	11人
観察鳥種	12種	14種	23種
キジバト	○	○	○
アオサギ	○		○
ダイサギ			○
ホトトギス			○
トビ	○		○
カワセミ		○	
コゲラ	○	○	○
アオゲラ		○	○
ハヤブサ			○
サンショウクイ		○	○
ハシボソガラス			
ハシブトガラス	○	○	○
ヤマガラ	○	○	○
シジュウカラ	○	○	○
ヒバリ			○
ツバメ		○	○
ヒヨドリ	○	○	○
ウグイス		○	○
エナガ	○		
メジロ	○	○	○
キビタキ	○	○	○
スズメ			
セグロセキレイ			○
カワラヒワ	○	○	
ホオジロ			○
番外			
ソウシチョウ	○		
総計 25種			

オニカッコウ観察物語

久留米市田主丸町 池長裕史

5月12日から21日まで筑後エリアで福岡県初記録のオニカッコウが観察されましたので報告します。

5月12日、バードウイーク探鳥会が開催されていたその日、私は自治会の役員として区内の「春の道路愛護の日」を担当していて、野鳥を観察することもなく午前中を過ごしていた。昼食を済ませた12時半過ぎに松富士支部長から、にわかには信じがたい鳥情報の電話が入った。それは「田主丸在住の一般の方から、『オニカッコウの声を聞いた』という連絡があったので、確かめに行ってもらいたい」という内容で、「その人は、しばしばタイ国に行っていて、オニカッコウの声をよく聞いているらしく、その声が田主丸町の恵利地区あたりから聞こえたそうだ」とのこと。恵利地区は昨年度の久留米市鳥類調査で私が担当したエリアで、自宅から15分程度で行けるところなので、とにかく出かけてみることにして、連絡されたという方に問い合わせた。高山栄一郎さんというその方は、田主丸町菅原の在住で、そこは筑後川のすぐ南側の集落になる。その日の朝、ご自宅の玄関先でその声を聞かれたそうで、「ちょうど数日前にタイから帰ったところで、タイではゴルフ場などでその声を頻繁に聞いている。その独特な声は耳に良く残っているの、オニカッコウだと思ったが、日本では珍しいとようなので問い合わせた」という話なので聞き違いとも思えない。確かにオニカッコウの声は、その英名のKoelの通り、大声で「コーエル、コーエル、…」と聞こえる特徴的な声で、その声を聞けば一目で（いや一耳で）判断できるようだ。半信半疑で恵利地区の筑後川河川敷に車を走らせた。午後3時近く、その声は恵利堰の少し下流地点を走行中に聞こえてきた。遠くからではあったが、確実に特徴的な声だった。取り急ぎ録音したが、何度か鳴いては途切れる鳴き声なので、場所を特定することもできず、翌朝再調査することにした。13日は6時から恵利地区の筑後川河川敷で聞き耳を立てていた。鳴き声はどうか筑後川の対岸から聞こえるようだった。目星を付けて大刀洗町三川の床島用水路周辺の河畔林に向かったところ、エノキの木の上からピンポイントで鳴き声が降ってきた。これはしっかり録音できた。10時過ぎには松富士支部長も現地に来られ、鳴き声を確認された。大声で良くなく鳥だが、姿を見ることは難しかった。この日から鳴き声が聞こえなくなるまで、毎日早朝のオニカッコウ追っかけが続いたが、姿を確認したのは数回に留まり、写真もまともなものは撮れなかった。下の写真は鳴いているところをスコープで確認してから撮ったものである。紺光りのする黒い鳥で、カササギよりも少し小さい程度、眼が赤く、嘴は緑がかかった薄い黄色。「コーエル、コーエル」と5回~10回ほど連続して鳴くとしばらく鳴き止んで、早い場合

は1、2分すると同じところでまた鳴いた。しばらく聞こえない場合は、次には別の方向から鳴き声が聞こえてきた。午前中6時から8時台には床島用水路に沿って1kmほどの範囲を点々と移動しながらよく鳴いていたが、日差しの強い日中や雨風の時間帯には鳴き声は聞けなかった。

時折ゲートが閉まっているような場所柄、人が集まって観察することはできないので、情報はクローズにさせていただいた。

今年、オニカッコウは同じ時期に石垣島や沖永良部、喜界島でも観察されたようで、喜界島の話は新聞報道もされている。もともと東南アジアの野鳥だが、宮古島では長期滞在の記録があり、国内では北は山形県飛鳥で観察されており、愛知や大阪でも記録がある。ただちに地球温暖化の影響とは断じられないが、分布拡大の動きがあるのかも知れない。

今回の記録は福岡県初記録であるとともに、10日間の滞在で、各地と比べても比較的長期間観察されたことになる。



▲オニカッコウ♂（2019年5月14日）

鳴声はブログ「まめわり通信」で聞くことができます。
<http://grosbeak.blog.fc2.com/>

なお、同地付近では以下の鳥も記録しました。

- 1.キジ、2.カルガモ、3.キジバト、4.カワウ、5.アマサギ、6.アオサギ、7.ダイサギ、8.コサギ、9.ヒクイナ、10.バン、11.アマツバメ、12.コチドリ、13.イカルチドリ、14.キアシシギ、15.ミサゴ、16.トビ、17.オオタカ、18.ヤマセミ、19.コゲラ、20.サンコウチョウ、21.モズ、22.カササギ、23.ハシボソガラス、24.ハシブトガラス、25.シジュウカラ、26.ヒバリ、27.ツバメ、28.イワツバメ、29.ヒヨドリ、30.ウグイス、31.エナガ、32.エゾムシクイ、33.センダイムシクイ、34.オオヨシキリ、35.セッカ、36.ムクドリ、37.スズメ、38.セグロセキレイ、39.カワラヒワ、40.ホオジロ、番外：コジュケイ、コブハクチョウ、ドバト